

COP10 里山の森の復元「千の苗・植林プロジェクト」自然観察会 実施報告

日 時：平成22年5月22日(土)13:30~14:30 晴れ

主 催：森を守り育てる会 後援：千葉県、千葉市、里山センター、里山シンポジウム

参加者：30名（子供20名 大人10名） 千葉県自然観察指導員協議会

場 所：千葉市緑区小山町観音地とアザミ谷津周辺

観察指導員：小林義和、川北紀子

この活動は、村田川源流域の里山・谷津田のもつ自然の生態系を保全・復元し、次世代に継承する目的で行なわれています。

その子供たちが、自然に触れて色々体験できるようにとの趣旨で開催されました。

午前中に記念植樹と昨年秋に拾ったどんぐりを蒔いた幼苗を各家庭や学校、企業の方々などに里親になってもらったポット苗を苗畑に移植しました。昼食後、記念行事の一環として自然観察会が行なわれました。



植樹会場を後に斜面に沿ってアザミ谷津に下りる途中、自然植生（現存植生）の残った斜面や谷津田の周りには多様な植物が見られ、アカガシ、エゴノキ、ハナイカダ、オトコエシ、キンミズヒキ、キブシ、ホタルカズラ、ハウノキ、など。谷津田には、ニホンアカガエル、アズマヒキガエルのおたまじゃくし、タニシ、などの生物が棚田に沢山目撃された。途中キブシの下ではオトシブミを拾い上げての観察では、自然の奥深さに感心していました。

小山町では、今でも日常の飲料水に井戸を利用しており、千葉市の災害時の飲料水提



供井戸に指定されて、定期的に水質の保全チェックを行っています。観察会の主目的である自然を大切に（汚さない）する事の大切さを身をもって体験してもらい、美味しい飲料水のご馳走を頂いて、元来た道を植樹会場へと帰路に着きました。

当日は、あすみが丘地区の小学校4校のうち3校が学校の運動会行事と重なり、植樹祭の行事運営

に影響したと思われませんが、皆さんの育てたどんぐりの幼苗を事前に会場に集合させて参加者全員で苗畑に移植して、今後の運動継続に一致団結して取り組んでいく意気込みを感じ取ったすばらしい植樹祭であった事を実感しました。すばらしい森を後世に無事に引継ぎできる事を祈り、今後も機会があれば応援してゆく所存です。

（報告：小林義和 写真：赤木光明）